

# 令和2年 収支（白色）決算記帳講習会

日時：令和2年\*\*月\*\*日（\*）

場所：

## 1. 講習内容

決算記帳について

---

《メモ》



## 令和2年 自家用各種単価表

酒田飽海農業青色申告協議会  
作成：令和2年11月18日

### 飯米価格 (基準価格 はえぬき・ひとめぼれ・ササニシキ)

◎飯	米 1等(60kg)	11,100円
◎飯	米 2等(60kg)	10,500円
◎飯	米 3等(60kg)	9,500円
◎二番米	(60kg)	6,480円

※ コシヒカリ+400円 つや姫+0~4,000円 (検査結果による)

### 自家用畑野菜

家族人員	適用金額
1人	11,000円
2人	22,000円
3人	31,000円
4人以上	40,000円

※ 6歳未満は人数に含まない

\* 上記金額は、前年同額

### 期末棚卸額

◎大 豆 (60kg) 2,000円

\* 上記金額は、前年同額

◎平成21年1月1日以降取得の場合  
減価償却費の計算(台帳)

資産の名称	コンバイン
取得価格	10,000,000 円

取得年月	H28.9
耐用年数	7年
償却率	0.143

年度	償却の基礎となる金額 ① 円	償却率 ②	年中の償却期間 ③ 月	普通償却費 ④=①×②×③ 円	割増(特別)償却費 ⑤ 円	償却費合計 ⑥=④+⑤ 円	事業専用割合 ⑦ %	必要経費算入額 ⑧=⑥×⑦ 円	未償却残高 ①-⑧ 円	摘 要
28	10,000,000	0.143	4 — 12	476,666		476,666	100	476,666	9,523,334	新耐用年数により
29	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	8,093,334	
30	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	6,663,334	
31	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	5,233,334	
令和	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	3,803,334	
3	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	2,373,334	
4	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	943,334	
5	10,000,000	0.143	8 — 12	943,334	△ 1	943,333	100	943,333	1	残存額 1円
			—							
			—							
			—							
			—							
			—							
			—							
			—							

# ◎途中売却の場合

## 減価償却費の計算(台帳)

資産の名称	コンバイン
取得価格	10,000,000 円

取得年月	R1.9
耐用年数	7年
償却率	0.143

年度	償却の基礎となる金額 ① 円	償却率 ②	年中の償却期間 ③ 月	普通償却費 ④=①×②×③ 円	割増(特別)償却費 ⑤ 円	償却費合計 ⑥=④+⑤ 円	事業専用割合 ⑦ %	必要経費算入額 ⑧=⑥×⑦ 円	未償却残高 ①-⑧ 円	摘要
1	10,000,000	0.143	4 — 12	476,666		476,666	100	476,666	9,523,334	新耐用年数により
2	10,000,000	0.143	12 — 12	1,430,000		1,430,000	100	1,430,000	8,093,334	
3	10,000,000	0.143	7 — 12	834,166		834,166	100	834,166	7,259,168	8月売却

確定申告で処理【総合譲渡】

- 除却損 ⇒ 収支内訳書で処理
- 資産損失 ⇒ 同上 (災害)

《中古資産取得の時の見積耐用年数の求め方》

(イ) 法定耐用年数の全部経過したもの  
 (法定耐用年数 × 20%) の年数  
 この年数に1年未満の端数があれば切捨て、また、この年数が2年未満の時は2年とします。

(ロ) 法定耐用年数の一部経過のもの  
 [(法定耐用年数 - 経過年数) + (経過年数 × 20%)] の年数  
 端数計算は、(イ)と同じです。

(注) 中古資産の耐用年数の見積は、事業の用に供した事業年度においてのみできます。

【計算例】  
 法定耐用年数30年の建物で建築後12年経過したものを取得した場合の簡便法による見積耐用年数は次の通りとなります。  
 (30年 - 12年) + (12年 × 0.2) = 20.4年 (端数切捨て) ⇒ 20年

減価償却費の計算(台帳)

取得年月	
耐用年数	
償却率	

資産の名称		取得価格	円
		(A)	円

年度	償却の基礎となる金額 ①	償却率 ②	年中の償却期間 ③	普通償却費 ④ = ① × ② × ③	割増(特別)償却費 ⑤	償却費合計 ⑥ = ④ + ⑤	事業専用割合 ⑦	必要経費 算入額 ⑧ = ⑥ × ⑦	未償却残高 (A) - ⑧	摘要
	円		月	円	円	円	%	円	円	
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							
			12							

## 減価償却資産の償却率年表

耐用年数	定額法（新）	耐用年数	定額法（新）
2年	0.500	21年	0.048
3年	0.334	22年	0.046
4年	0.250	23年	0.044
5年	0.200	24年	0.042
6年	0.167	25年	0.040
7年	0.143	26年	0.039
8年	0.125	27年	0.038
9年	0.112	28年	0.036
10年	0.100	29年	0.035
11年	0.091	30年	0.034
12年	0.084	31年	0.033
13年	0.077	32年	0.032
14年	0.072	33年	0.031
15年	0.067	34年	0.030
16年	0.063	35年	0.029
17年	0.059	36年	0.028
18年	0.056	37年	0.028
19年	0.053	38年	0.027
20年	0.050	39年	0.026

## 耐 用 年 数 表

### (1) 建 物

耕 造 または 用 途	細 目	耐用年数	
木 造 の も の	住宅	22年	
	倉庫用、作業場のもの、車庫	15年	
金 属 造 の も の	倉庫用、作業場のもの	骨格材の肉厚が 4mm超	31年
		3mm超4mm以下	24年
		3mm以下	17年
ビ ニ ール ハ ウ ス	パイプの太さ 22mmまで	7年	
	〃 25mm以上	10年	

### (2) 農 林 業 用 償 却 資 産

種 類	細 目	耐用年数
主としてコンクリート造、レンガ造、石造又はブロック造の構築物	果樹又はホップ棚	14年
	頭首工、えん堤、ひ門、用水路、灌漑用配管、農用井戸、貯水槽、肥料溜め、堆肥盤、温床わく、サイロ、畦その他のもの、斜降索道設備及び牧さく(電気牧さくを含む)	17年
主として金属造のもの	農用井戸、かん水用又は散水用配管など	14年
主として木造のもの	果樹又はホップ棚、斜降索道設備、稲架、牧さく(電気牧さくを含む)など	5年
土管を主としたもの	暗きよ、農用井戸、灌漑用配管など	10年
その他の構築物	薬剤散布用又は灌漑用塩化ビニール配管など	8年
原 動 機	モーター及びディーゼルエンジン	7年
	石油エンジン及びガソリンエンジン	
耕 う ん 整 地 用 機 具	乗用型トラクター	
	動力耕うん機	
栽 培 用 機 具	すき、プラウ、砕土機、ハロー、鎮圧機、うねたて機、溝さらえ機、株切機、畦塗機	
	きのこ栽培用ほだ木	
	は種機、施肥は種機、田植機、いも植付機、ネギ植付機、植穴堀機、培土機、水田中耕除草機、土入機及び育苗機	
防 除 用 機 具	肥料散布機、揚水ポンプ、簡易揚水機(踏車を含む)及びスプリンクラー並びに温室用ボイラー及び同附属設備(種苗花き園芸用を除く)	
	スピードスプレヤー	
	人力又は動力散粉機、噴霧機、ミスト機(ミスト散粉兼用を含む)煙霧機及びくん蒸用タブレットダスター	
	カーバイト爆音機、土壌消毒機(人力用含む)防じゃく網	
収 穫 調 製 用 機 具	天幕くん蒸用具	
	稲麦刈取機、コンバイン、脱穀機、バインダー及び亜麻収穫機、掘取機	
収 穫 調 製 用 機 具	穀物乾燥機、唐み、米選機、選果機及びワックス処理機、もみすり機	
	埋薪式、直流式又は分流鉄甲ら式葉たばこ乾燥鉄管	
畜 産 用 機 具	乾燥用バーナー	
	刈払機及び草刈機、ヘーモアー、ヘーコンディショナー、ヘーテッター、ヘーレーキ、ヘーローダー、ヘーベラー、ヘッドライヤー及びフォーレージハーベスター、自動給餌機、自動給水機、卵処理機、ふ卵機、養鶏用具、搾乳機、牛乳冷却機、牛乳かん、脂肪検定機、人工授精用具、はちみつ分離機、ふん尿処理機及び電牧器(電気牧さく用トランスをいう)	
運 搬 用 具	その他のもの	
	孤輪車、トレーラー、クローラーキャリア	
自 動 車	軽トラック	4年
	普通トラック、乗用車	5年







年分  
 收支総括表 (集計)

科目		月例	上期計	下期計	合計	補正	補正後合計
農業収入	水	稲					
	畑	関係					
	雑	収入					
収入合計額							
農業支出	公	租公課					
	種	苗費					
	肥	料費					
	農	具費					
	農	薬費					
	諸	材料費					
	修	理費					
	動	力光熱費					
	作	業用衣料費					
	農	業共済掛金					
	運	賃手数料					
	雇	人費					
	利	子割引料					
	地	代賃貸料					
	土	地改良区費					
	自	動車費					
	利	用料					
	雑	費					
支出合計額					-9-		

## 固定資産税の農業割合の算定表

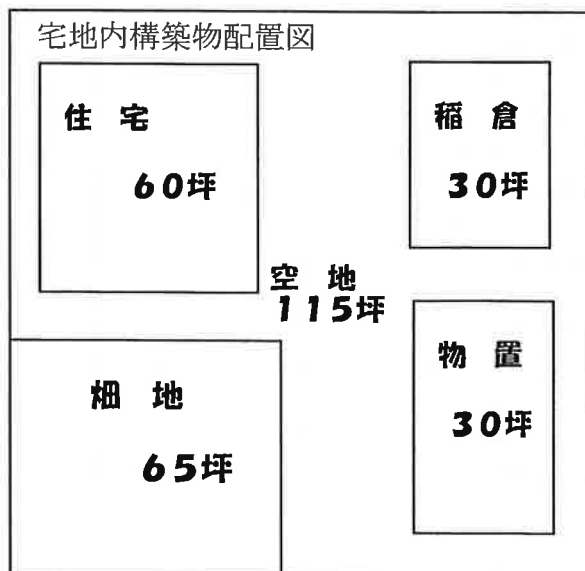
項目	面積	課税評価額	農業分		農業外	
			率	課税評価額	率	課税評価額
水田	300 a	2,700,000	100 %	2,700,000	0 %	0
畑	3 a	9,000	100 %	9,000	0 %	0
山林	50 a	60,000	0 %	0	100 %	60,000
宅地	300 坪	500,000	59 %	295,000	41 %	205,000
住宅	60 坪	5,000,000	5 %	250,000	95 %	4,750,000
稲倉	30 坪	150,000	100 %	150,000	0 %	0
物置	30 坪	130,000	50 %	65,000	50 %	65,000
合計		8,549,000		3,469,000		5,080,000
比率			40.6%		59.4%	

◎固定資産税 × 農外分 = 減額補正する金額

$$(1月～12月までの納付金) \mathbf{145,000} \times \frac{\mathbf{59.4}}{\mathbf{100}} = \mathbf{86,130}$$

宅地比率の計算表

宅地面積	300坪	
項目	農業分	農外分
住宅	3	57
稲倉	30	0
物置	15	15
畑地	65	0
空地	65	50
合計	178	122
率	59%	41%



令和 0 年分収支内訳書 (農業所得用)

あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して提出して下さい。

提出用 (令和元年分以降用)

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

住所、氏名、電話番号、業種名、農園名、電話番号、事務所所在地、氏名、電話番号

令和 年 月 日 至 月 日

○雇入費の内訳

Table with columns: 科目, 金額, 目録, 金額, 種別. Rows include: 販売金額, 家事消費費, 雑収入, 小計, 農産物の期首, 棚卸高, 雇入費, 小作料・貸借料, 減価償却費, 貸倒金, 利子割引料, 租税公課, 雑費, 雑費, 肥料費, 飼料費, 農具費, 農業費, 諸材料費.

Table with columns: 氏名・住所又は作業名, 日数, 延日, 現金, 金物, 合計, 所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額.

○小作料・貸借料の内訳

Table with columns: 支払先の住所・氏名, 小作料・貸借料等の別, 面積・数量, 支払額.

○事業専従者の氏名等

Table with columns: 氏名, 年齢, 続柄, 従月数, 延べ従月数.

【税務署整理欄】

○収入金額の明細

農産物等の種類名等	作付面積 (畝)	販売金額		家事消費費 金額	農産物の時期		高 末
		数量	金額		数量	金額	
特							
殊							
産							
物							
等							
の							
種							
類							
名							
等							
小計							

(令和元年分以降用)

○減価償却費の計算

減価償却資産等 の名称等 (採算資産を含む)	面積 又は 数量	取得 価額 (償却保証額)	償却 方法	耐用 年数	償却 率 又は 減価率	本年中 の償却 期間	本年 償却費 (A) × (B) × (C)	本年 分の 必要 経費 算入額 (D) × (E)	事業手 用割合	本年分の必要 経費算入額 (F) × (G)	未償却残高 (期末残高)	摘 要
計												

(注) 平成19年4月1日以後に取得した高価償却資産については定率法を採用する場合のみ(B)欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の 名称	取得 年月日	前 年の 録 感 額	本年 中の 育成 費用		育成中の果 樹等から生じ た収入金額	本年 中に 取得 した もの 取得 価額	本年 分の 必要 経費 算入 額 (H) × (I) × (J)	本年 分の 必要 経費 算入 額 (K) × (L)	本年 中の 果 樹 等 か ら 生 じ た 入 金 額 (M) × (N)	本年 中の 果 樹 等 か ら 生 じ た 入 金 額 (O) × (P)	本年 中の 果 樹 等 か ら 生 じ た 入 金 額 (Q) × (R)	本年 中の 果 樹 等 か ら 生 じ た 入 金 額 (S) × (T)	本年 中の 果 樹 等 か ら 生 じ た 入 金 額 (U) × (V)
			肥料、農薬等 の投入費用	小計 (W) + (X)									
計													

◎本年中における特殊事情



雑収入の内訳

項 目	金額 (円)	受委託料金の内訳	
		(相手先) 住所・氏名	金額 (円)
小 計 (A)		小 計 (B)	円
	円	雑収入合計 (A+B)	円





